

目次 Contents

- 1 **巻頭言** 常務理事 河津龍大
健康経営とニュートラルな視点

- 4 **GBRCニュース**

おかげ様で当法人は創立60周年を迎えました
新規試験業務紹介「強化ガラスの曲げ試験業務を開始しました」
2024年度研修事業開催のご案内

- 8 **特別寄稿**

遺跡や歴史的建物における文化財保存のための環境制御

／小椋大輔（京都大学）

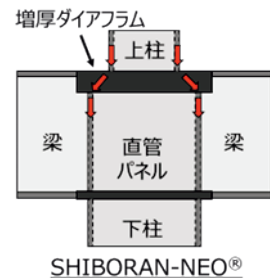
文化財をカビなどの劣化から守り、良好な状態で長期に亘り保存公開するためには、温湿度などを制御し安定した環境におくことが重要です。しかし、遺跡や歴史的建物の場合には、外界気象や周辺地盤からの影響を受けやすいため、影響のメカニズムを解明して適切な環境に制御することが課題でした。この分野での最新の取組みとして、建築環境工学分野での熱・水分同時移動理論や数値流体力学を応用した環境制御の実践的検討が進んでいます。本号の特別寄稿では、高松塚古墳石室、中国敦煌莫高窟の壁画、法隆寺金堂壁画収蔵庫などでこれまで実践されてきた研究成果を、2023年日本建築学会賞（論文）の受賞論文を元に小椋大輔教授にご紹介頂きました。

- 18 **技術報告**

径の異なる角形鋼管を接合するJFEの異幅仕口工法SHIBORAN-NEO®の開発

／永山 光・金城陽介・大庭諒介・森岡宙光（JFEスチール（株））

柱に角形鋼管を用いる建築物で、上下階で径の異なる鋼管を接続する場合に、テーパ管ではなく直管を使用し、上ダイアフラムを増厚して接合する異幅仕口工法が開発されました。鉄骨製作の自動化が容易で合理化が期待される新たな工法です。同工法の概要、十字形骨組の繰返し載荷実験の結果、および独自設計式の検証結果についてご報告頂きました。



- 22 **技術報告**

基礎工法を対象とした性能証明の概要と申込時の留意点

／岩佐裕一・蜂須大輔・下平祐司（建築確認評定部）

当法人では、新しく開発された建築技術の性能を第三者の立場から評価し、その技術が達成している性能について証明する「建築技術性能証明事業」を2000年から実施しており、2022年度末までに計618件の実績があります。このうち、基礎技術に関するものが約4割を占めています。本稿では、当法人の基礎技術に関する建築技術性能証明事業の概要と性能証明の実績をご紹介しますとともに、性能証明にあたっての留意点を共通事項と各工法別にご報告いたします。

■ 30 **試験・研究**

耐震診断後のRC造建築物における構造体の経年変化に関する研究

-コンクリートの含水率と圧縮強度、中性化、鉄筋腐食の関係-

／本庄敬祐（構造部 耐震耐久性調査室）・木野瀬透

■ 36 **研究速報**

下水関連施設におけるコンクリート表面の水分を対象とした

遠隔pHモニタリング手法の検討

／中山健一（材料部 材料試験室）、吉田夏樹・服部晋一・鎌田敏郎、山中明彦、
北野陽一郎・中屋克幸

■ 38 **知っておきたい基礎シリーズ**

コンクリート① 歴史と基準類

／材料部 材料試験室

■ 40 **事業報告**

性能評価完了案件，建築技術性能認証・証明，建設材料技術性能認証・証明，建築防災計画評
定，建築技術安全審査，構造計算適合性判定（法定），超高層建築物評価シート，建築技術性能証
明評価シート，建設材料技術性能証明評価シート

■ 75 **センターだより**

試験研究センター

CLT 遮音実験棟（吹田本部内）の遮音性能実験でのご利用について
[業務案内] 構造分野の数値解析と技術開発支援業務

製品認証センター

2023年度 JIS 認証定期セミナー（オンデマンド配信）を開催しました，
JIS改正に係る届出について

■ 78 2023年度 業務・研究報告会開催報告

■ 79 法人内「職員表彰」の紹介、組織の動き、研修情報、組織図

■ 82 室課紹介 / 建築確認評定部 業務管理課

■ 83 編集後記

「GBRC」読者アンケート実施中

皆様のご意見・ご感想を募集しております。
ご協力をお願いします。

<https://forms.gle/cMwsVLtFPvZzQou68>

